

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立寄居城北高等学校)

目指す学校像	一人ひとりが 個性輝く 元気な学校 ～ 総合学科の特色を生かした教育を展開し、知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成する ～
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 系列の特性を生かした教育を実践し、確かな学力の育成と資格の取得に取り組む。 2 基本的生活習慣の確立を図り、部活動や学校行事などの特別活動を通して規律ある態度を身につけ、心身ともに健全な生徒の育成に努める。 3 インターンシップ等の体験活動を通して、進路意識の醸成を図り、生徒の適性や希望に応じた進路実現に努める。 4 積極的な情報発信を通して、保護者や地域から共感を得られる魅力ある学校づくりを進める。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	6名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価 (1 月 2 4 日 現 在)		実 施 日 平 成 3 1 年 2 月 8 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	アクティブラーニングや毎時間のプリント学習、小テストなどの授業改善への取組により、成績不振者が減少するなど、学力向上の成果は見られる。今後も、きめ細かな学習指導と家庭学習の充実を図ると共に資格取得指導を通じて、一層の学習意欲や学力向上に繋げることが重要である。	・授業中のマナーをはじめ授業の工夫改善や学習時間の確保、資格取得指導を徹底し、基礎学力の定着を図ると共に、学習意欲や学力を向上させる。	① チャイム着席や授業中のマナーを周知し、指導を徹底する。 ② アクティブラーニングの充実や習熟度別授業、少人数クラス展開により、学力向上に繋げる。 ③ 年間を通じて教員が相互に参観できる授業研究を行い、授業力を向上させる。 ④ 週末等の宿題や課題提出により家庭での学習時間を確保する。 ⑤ 各種資格取得者を増加させる。	① チャイム着席や授業中のマナーの順守が9割以上いたか。 ② 成績不振者は減少したか。また習熟度別授業等で「よく分かった」が8割いたか。 ③ 教員相互の授業研究により年間を通じて、研究授業に参観する教員が延べ80名いたか。 ④ 家庭学習をする生徒が4割以上いたか。 ⑤ 各種資格取得者が増加したか。	授業への取組等はほぼ達成 ①授業中のマナーは、94%が順守。昨年度比1%アップ。 ②成績不振者昨年比18%減少。習熟度で良く分かった66%～76%、8割に至らず。 ③研究授業延べ82名参観、昨年度比12名向上。 ④家庭学習している生徒は42%、昨年度比9%アップ。 ⑤昨年度比減、受験意欲向上	A	○授業中のマナーは、しっかりと守られている。今後は研究開発員を核に、協調学習の公開により授業力向上を図り、生徒の主体的な学びを一層推進する必要がある。 ○家庭学習は確実に向上している。今後は多方面に亘る資格取得等も視野に、生徒自ら計画的に学習する習慣を身に付けさせる必要がある。	○先生方が熱心である。授業を工夫し生徒をしっかりと伸ばしている。 ○授業が楽しく、習熟度別授業による「分かる授業」はとても良い。 ○男女共生でジェンダーギャップがなく、女子が意欲的で参加しやすい環境にある。 ○授業での課題提出により、しっかりと学習でき進路実現に大変役だった。
2	徹底したきめ細かな生徒指導により生徒達は熱心に授業を受け、落ち着いた学びの環境にある。一方で遅刻者の増加が課題である。今後は、遅刻者の防止と共に、学校行事や部活動、ボランティア活動の充実により高校生活の一層の向上に繋げていく必要がある。	・時を守るなど基本的生活習慣をしっかりと身に付けさせると共に、学校行事や部活動、ボランティア活動に積極的に参加させ豊かな人間性を育ませる。	① 月1回のマナー学習、毎日の校門指導、学年・クラス指導等により挨拶や言葉遣いと遅刻防止を徹底する。 ② 部活動やボランティア活動への積極的な参加を呼び掛ける。 ③ 文化祭や体育祭など学校行事を一層充実させ、生徒に達成感・成就感を味わわせる。	① マナー学習、校門指導等により活発な挨拶と規律が定着し、2学期末での遅刻者が、昨年度比10%減少したか。 ② 部活動やボランティア活動への参加者が増加したか。 ③ 充実した文化祭など、学校行事に積極的に参加する生徒が9割いたか。	規律ある態度育成概ね達成 ①マナー学習、校門指導の徹底により遅刻者が昨年比17%減少達成。成果あり ②ボランティア活動参加者は昨年と同様だが、部活動参加者は昨年度比3%減少。 ③学校行事積極参加82%、9割に至らず、昨年度比1%向上	A	○学校挙げた取組により遅刻者は減少したものの、特定の生徒の増加が目立つ。今後は家庭との連携を軸に新たな指導体制が必要である。 ○部活動参加者は年々減少の一途である。今後は部活動の参加者(実質加入率)を如何に高めるかが課題である。	○マナー学習の成果が出ており、保護者は大変満足している。 ○生徒会や部活動によるボランティア活動は、熱心に取り組んでいる。 ○部活動は和やかに取り組んでいる。 ○「働き方改革」の動きの中で、来年度以降どのように対応するのか。
3	系統的な進路指導から進路意識が向上し、2年連続進路決定100%(就職・進学)を実現した。この実績を基に、さらに徹底した小論文・面接指導、進路補習等により生徒のニーズに応じていく。また、インターンシップの有効な取組によりキャリア教育の一層の充実に向けていく必要がある。	・きめ細かな進路指導とインターンシップの有効な取組により生徒の進路意識を高めると共に、3年生全員の進路決定を実現する。	① 3年間を見据えた系統的な進路指導を更に充実させる。 ② インターンシップを多面的に活用し、進路意識の醸成を図ると共に、望ましい勤労観・職業観を育成する。 ③ きめ細かな指導により、3年生全員の進路を決定させる。 ④ キャリア教育を一層充実する。	① PTA・後援会・同窓会など幅広い系統的な支援により進路指導が充実したか。 ② インターンシップの実施がガイダンスからまとめ・成果発表まで、確実に遂行できたか。 ③ きめ細かな指導により3年生の進路決定率100%ができたか。 ④ キャリア教育が充実できたか。	進路決定3年連続達成 ①P等の面接指導により充実 ②④インターンシップの実施は69事業所の協力により報告書の作成・成果発表等へと繋がった。成果あり ③3年間の徹底した進路指導により、「就職内定率100%」「進学者全員決定」(就職89、進学136)	A	○徹底した手厚い指導により確実な進路実現に繋がっている。今後は更に生徒のニーズに応じた公務員や大学、看護等上級学校の実現に指導を強化する必要がある。 ○保護者対象の進路説明会を開催するなど、今後も早期に進路に向かう姿勢を一層構築する必要がある。	○進路決定100%は素晴らしい。この事は生徒にとっても良く、長年の成果である。 ○意志力、生きる力の育成は、総合学科に合っている。その上で、生徒は明るく素直でとても良い。 ○系列、総合学科の仕組みは、進路選択に大変良い。 ○悩み相談は学年と共に向上している。先生との信頼の表れである。
4	大幅な中学卒業生の減少の中、新規事業の実施や地域連携から生徒募集は多大な成果に繋がった。今後も更に、「地域連携型総合学科」として、地域交流や地域貢献及び情報発信に努め、魅力と特色ある教育活動の推進を図っていく必要がある。	・地域のニーズに応じた取組や外部評価等の意見を本校の教育力向上に繋げ、HPや学校通信、学校説明会など情報発信を更に充実させる。	① 部活動を中心に、地域の行事に生徒を積極的に参加させる。 ② 中学校訪問や学校説明会、塾等との連携を強化し、情報発信を充実させ募集定員を確保する。 ③ HPなど、情報発信を一層充実させ、本校の理解者を増やす。 ④ 学校評議員、保護者等の意見を本校教育力向上に生かす。	① 地域の行事に、生徒は積極的に参加できたか。 ② 中学校訪問や学校説明会、塾等との連携強化により、募集定員を確保できたか。 ③ HPアクセス数が12月まで、月平均400回に達したか。 ④ 学校評議員、地域・保護者等の意見を収集し、活用できたか。	地域、保護者等の連携達成 ①地域行事延べ220名参加、読売等新聞掲載計9回 ②徹底した説明会等により1月志願状況1.36倍達成。 ③HPアクセス月平均16000回、大幅達成。 ④PTA役員会を含め年間延べ10回実施、様々意見を学校課題に対応した。	A	○寄居町唯一の県立高校の存在感は年々向上している。今後はHPの充実をはじめ地域連携やPR等を一層強化し、募集定員を上回る人気校の基盤を確立する必要がある。 ○学校説明会アンケートでの授業参観へのニーズや、高大連携事業の更なる推進を検討する必要がある。	○地域に良く協力している。人とのふれあいは、将来役立つものである。 ○ホンダの規模拡大、工業団地の拡張、駅前整備など、寄居町は更に発展していく。こうした中で地域貢献を一層推進してほしい。 ○中高連携を更に充実させてほしい。 ○今後は世界を良くする取組に興味を持ってほしい。